

泉川校区まちづくり集会 開催結果報告書

| | | | |
|------|-------------------------------|--------|---------|
| 開催日時 | 平成 22 年 7 月 12 日(月) 19 時～21 時 | | |
| 場 所 | 泉川公民館 | | |
| 参加者数 | 男 65 人 | 女 24 人 | 合計 89 人 |



1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名（地域福祉「しあわせネットワークをつくろう」）

討議内容

泉川校区のまちづくり校区集会ではワークショップの手法を活用し、一人一言発言の機会を持つことを前提に進行した。はじめに、村上 舉明 社会福祉協議会支部長から泉川校区の地域福祉の方向性として、泉川流「しあわせネットワークをつくろう」を発表した。その提案をもとに「まちづくり協議会」の部会単位で話し合いを行った。各部会終了後全体会を開催し、連合自治会のブロック長から協議内容を発表した。

地域福祉部会を除く 5 つの部会では、それぞれの関わりの中で地域福祉を掘り下げていったが、環境との関わり、安全安心との関わり、子どもとの関わり、健康との関わり、生涯学習との関わりなど、様々な切り口によって地域福祉を見つめ直し、連携協力が可能なことが理解できた。

まちづくりは総合的な取り組みであり、タテ割りで考えるのではなく、ネットワークの構築が重要であることが再認識された。以下、その概要を記す。

討議内容

★ **健康づくり部会** 「いつまでも元気な身体と心を保つために必要な活動」をテーマと

して、健康体操を広め、医師の講演を行い、家庭でできることを話し合う。また、地域コミュニティ畑を借り上げ3世代交流ができる有機農法を行うなど、向こう3軒両隣を大切にできる地域づくりを行う。

★ **子どもの育ちを支える部会** 「子どもと高齢者のふれあい」をテーマに、TKJ法(カードを使ってまとめていく方法)による考え方をまとめた。高齢者宅への児童の訪問、遊びや昔話の伝承、農作業、昔のおやつづくりなど具体的な行動が示され、その中で高齢者は生きがい、児童は良い学びの場としていく。

★ **安心安全部会** 新しく災害要支援者のマップづくりを進めていくことや家族の個人データ(連絡先やかかりつけ医など)を書いたカードをケースなどに入れて、冷蔵庫などの中に保管し、緊急時でも見つけられる体制をとっていく。

★ **環境美化部会** 「今までの縦割りの支援から、一人ひとりのお年寄りを地域で支えるのにどうすればよいか」をテーマとして、買い物難民(足がなくて買い物に行けない人々)やデイサービスに行く人などを支援する買い物サポートなどを行う。また、人と人の関係があるので、地域の人が温かく見守り、人間関係をつくることから始める必要がある。

★ **生涯学習部会** 要支援者にとって、必要な支援のあり方を検討し、一人ひとりのメニューづくりをする。また、日頃から声をかけ、ふれあいを大切に日々の積み重ねに心がけるなど、部会としては、各部会が取り組む地域福祉に役立つ学習の情報を提供ができる事が重要である。